

村里の聲を聞く

長野縣更級郡上山田村
における懇談會記錄

はしがき

四月下旬當所計畫部員六名の一行は一週間そこ／＼のあわたたしい日程で長野縣下に出掛けた。主目的は當省農地部から委託された農地改革の實狀調査の一部として此調査班が金盞燐當した農地委員會の實相把握にあつた。一行のおとずれた二つの村の一つ千曲川左岸の小村上山田に於いて時間の餘裕を得て村民との懇談會を試みた。以下の記録は、その席上に於ける村民の赤裸々なる發言の要旨を綴つたものである。農地問題に關してはこの直前に各部落をたずねた際問題の出盡した後であつたため發言が少く、注意は専ら租税を中心に農村經濟一般の問題に集中した。その論旨に於いて批判されるべき個見と誇張との存することは否定し得べくもないが、なお赤裸々なる主張の中に傾軋に値する眞實が數多く含まれていることを思い、敢えて加工を施さずそのままの記録を報告する。

村里の聲を聞く

アルファベットの大字は付録の發言者、○小文字は研究所側の發言者を夫々示めす。

日時 昭和二十三年四月二十五日午後二時より約二時間

場所 上山田村役場會議室

出席者

研究所側 愛甲、馬場、齋藤、矢野、遠見、白川

上山田村側 村長、農地委員長以下七十九名

農 業 三十三名 國營農業 三十六名

工 業 四名 商 業 四名

婦 人 二名

A (農地委員長) この度農林省農業綜合研究所より愛甲事務官以下六名の方々が見えて、農地問題を中心に村の經濟問題一般を觀察された。本日は多忙中にも拘らず特に時間をさいて耕作農民と直接懇談下さるとの事なので募集を願つた次第である。このような機會は滅多にない。夫々の専門家が六名もそろつて居られるのだから充分お話を承り、遠慮なく注文をつけるようにしてもらいたい。

私個人としてはこのような機會を非常に嬉しく想つてゐる。というのは今までの役人は視察という型態の如く村役場に来て書類を踏検し、少數有力者の意見を僅かばかり聴取するだけで事足れりとした。直接農民に接しその赤裸々な聲を聞くということをしなかつたからである。最近の官吏のやり方は變つて來

た。直接に農民に接しその聲を聞こうとする意志は大變有り難く思う。ここで耳にせられた農民の聲は本省に歸られてから行政當局に充分お伝え下さるよう特に希望する。

我々は農林省農業綜合研究所の者である。當研究所は農林省農政局には屬しているけれども、直接行政の側にあるものではなく、研究機關として日本農業再建に關する調査研究をあらゆる角度から實施することを任務としている。調査研究といつても農業經濟の面に關するものであつて、生産技術の面については農事試験場その他各種の試験場があつて擔當して居り、我々の専門を離れることを豫め御承知願いたい。

我々が長野縣に參つたのは農地委員會の實情を見るためであつた。また特に當村をたずねたのは前もつて作爲があつた譯ではなく、縣で推薦された候補村の中から、當村の農地委員會が地味ながらもよくまとまつてゐるとの理由で我々が選んで、全く公平無私の立場で參つたのである。

此處に出席している我々研究所員は夫々異つた専門を持つてゐるので、農地問題に限らず租稅問題その他農村經濟一般に關して御質問なり、日頃の不平不満なり、御注文なりを忌憚なく聞かしていただきたい。無論我々は行政官ではないので此處で承つた事に對して直ちに返答をし、また處置をするということとは出来ない。しかし歸京後は充分行政當局に傳えて何等かの處置を考えてもらうことも出来るし、また直ちに解決出来ない問題は貴重な資料として残し、單にこの村だけの問題としてでは

なく、日本農業全體の問題として、何等かの解決策を發見することに役立てることも出来る。そうなればこの上ない幸と考へている。此頃の様に生活が苦しくなると、もういくら話しても無駄だといふ氣分が一般にあるように視ぜられる。そうなると思ふ政者側として聞く方もまたいくら聞いても無駄だといふ氣分になり勝ちである。しかし問題の困難さの故にお互に口と耳とを塞いだのでは一歩も前進することが出来ない。本日はこのやうな氣分を捨ててお互に充分話し合ひ聞き合つて見たいと思ふ。

B

私は當村の園藝組合長であるが、農村特に果樹栽培者に対する課税が如何に重く不合理であるか、その概況を御説明する。當村の林業作付面積は六十一町三反であるが、昨年の作は一昨年良作であつたことや雪害のために非常な不作であつた。そこで二十二年七月十五日稅務署に實地調査を願ひ、前年度の一割五分程度の收穫の見積で申告した。それにも拘らず二十三年二月十四日の徵稅書では收穫の査定が國光で反當三三〇貫となつてゐる。こんな馬鹿な話はない。私の場合は扶養家族八人で林檎園を三反一五歩經營している。所得税は四、〇四〇圓と申請したのであるが、稅務署の査定は所得額八四、〇〇〇圓、課税額二四、六四〇圓という高率なものであつた。

果樹園は戦時中は食糧増産の名目で壓迫を加えられ肥料の配給をもらふどころか、伐採すら強要せられた。かろうじて今日まで保存して來た果樹園も長年の放置のため荒れ果てゐる。

この果樹園に對して充分な肥料資材の配給をして地力の恢復をはかるどころか、却つて高率な課税を加えて來る。果樹園は儲かる／＼といつてゐるが、儲かる反面出費が如何に大きいかを考へてゐない。

例へば硫安の場合を取つて考へて見るのに、林檎に必要な量は一本につき六〇〇匁、一反につき一〇匁であるが、配給は二十一年が反當五〇〇匁、二十二年が二匁、二十三年が五匁と改善されつつあるがなお必要量の半ばかりでない。不足分はどうしても購買をしなければならぬ。聞硫安は十二匁買えば七、〇〇〇匁も取られる。こんな調子では林檎の再生産は不可能である。國家財政の苦境は我々も充分承知してゐるから税金を拂わないという譯ではないが、再生産が出来るように考へて税額をきめてもらいたい。

また家族數による税金の基礎控除額はもつと高くしてもらいたい。

A 私の考へでは農業に對する課税が重いことには國家財政上の理由も大いにあるが、もつと重大な理由は農林省の生産費査定が低すぎることにあると思う。實際上の所得と大蔵省の考へる計算上の所得が非常に喰ひ違つて來る。肥料と勞賃を④で査定されたのでは生産者はかなわない。

④ 租税の問題が非常に重要であることは農林省も自覺して農家に對策を考へ、大蔵省とも折衝してゐる。御承知のように國家の財政状態は非常に苦しいので皆さんの希望するように軽減す

村里の聲を聞く

ることは早急に望めないかも知れない。しかし再生産を不可能にするようでは問題は重大である。この點は極力主張しなければならぬ。この場合最も困ることは主張の根據となる具體的な計數に乏しいことである。若し具體的な例を示して、農業がこの通り困つてゐるのだとなればもつと強硬に押せると思う。何卒今度の近づきを機會に今後は充分の御連絡を願ひ、詳細な資料を提供していただきたい。

なお租税負擔の苦しさという意味に於いては果樹より米作の方が甚しいのではないかと考へられるが如何。

——米作者より發言なし。

B 租税の負擔に於いて米作が果樹より重いということはない。私の場合は林檎三反一五歩、梨六畝二八歩、水田二反八畝二〇歩、畑七畝、畑貸付二反九畝であるが、税務署所得額の算定標準は反當水田四二〇〇匁、普通畑一、七〇〇匁、野菜畑六、五〇〇匁、林檎園は二八、〇〇〇匁である。

それから課税は地力の差を考へてやつてもらいたい。現在のように一律にやられたものでは悪い土地を持つたものは立直ることが出来なくなり、良い土地を持つた者との間の不公平は益々大きくなる。

C 租税の責任の一部は税務署の下級官吏にある。上の方針が徹底しないで末端では實狀に合わない無茶な査定を加える。下級官吏の質が悪いために必要以上の摩擦が生じてゐる。

A 高率課税の責任の一部は農林省にもある。大蔵省との交渉に

於いて押しが足りない。農林省は何事についても腰が弱すぎる。

② 租税の問題は事務的には行政官廳が取扱つてゐるが、いふまでもなくこれが最終の決定權を握つてゐるのではない。最終の決定權は國會にある。従つてその根本的な解決は諸君の選出した國會議員を通じて政治的に行うことが民主的な道である。

③ 租税問題を根本的に解決するためにはどうしても農家所得を確實に把握することが必要である。農林省が農民への重税を防止しようとするに當つても、客観的な計數を握つて居らなければどうにもならない。そこで農林省でも農家所得問題を重要視し安定本部の協力を得て特別の調査委員會をつくつて居り、當研究所からも人を出して研究を續けている。その他にもいろいろの仕方でも實情把握に努力している。

水田地帯のうち新潟地方については先般農業所得に關する調査を行つて資料がとつてゐるが、果樹地帯についてはまだ資料がない。そこで一つこの村でも所得の實情を知らせるよう協力していただきたい。農家の經營と家計について正確に記録した資料が是非ほしいと思う。

D 家計調査のため必要な記帳用紙をお送り下されば農家に記帳させてお送りしよう。

A 農林省が腰が弱いと思われるもう一つの良い例は肥料行政の問題である。これが未だに商工省に押えられてゐる理由が我々には解出來ない。そこで農林省にうかがいたい。百姓の作つ

た米は全部供出させ一升二升の割でも抑えてしまふが、肥料の場合は一體どうなつてゐるのか。生産額の何割を抑えてゐるのか。横流しは許してゐるのか。

D 肥料會社は實に莫大な量を握つてゐる。物交をすれば出す。この地方でも木炭との交換で入手したものもあるやに聞いている。最近長野縣の某筋が、肥料用として割宛てられた大豆を味噌に加工して肥料と物交したことが統制違反として問題になつてゐるが、この人々は全く私心がなく本當に農民の立場を考えてやつたことを確言する。こういう問題は、もつと農民の方のことも尊重して處理して貰ひ度いものである。

④ 肥料の生産は商工省が擔當し、生産物はすべて農林省所管の肥料配給公團を通じて配給されることになつてゐる。生産者からの横流しはないとはいえないが、いわれる程大きな量ではないと思う。

E 課税は過重であるばかりでなく甚だ不公平である。當村は更級郡で長野稅務署の所管だが、川一つ向ふは植科郡で管轄は上田稅務署なので稅務署間の喰ひ違ひが實に明瞭に現われる。同じ長野稅務署の管轄でも日本人には重く第三國人には輕い。このような不統一では納稅完納の氣力を失つてしまふ恐れがある。

F 納稅で一番困ることは、課税の査定が非常に後れて來て豫め豫想することが困難なことである。金に餘裕がある筈がないから、はいつた金は殆んど全部使用してしまふ。無論納稅を見越

して一部の金は保留しては置くが、税額は豫想よりはるかに大きいのが當で、たちまち資金難に陥る。當然納め得る金までも納められなくなるし、經營上も非常な不利に陥る。例えば林檎包装用の箱などは現在三〇圓であるが、將來五〇圓位まで値上りすることを見越して居りながらこれを買ひ込む資金に窮している有様である。課税額をもつと早く決定することは出来なもののだろうか。

G 農業營業税というものが最近賑々いわれているが、これは農業生産を阻害する惡税であるから農林省の力で是非とも阻止してもらいたい。

④ 農業營業税は歴問上からも政治上からも問題が残ると思う。

農業の再生産と農業課税の調整については農林省でも努力している。農林省の主張を裏づける具體的資料を準備するために必要な調査も實施した。然し斯様な新税を賦課するかしないかを決定するのは、各位が選出された國會でなされることである。

H 當地方は養蠶業に代るものとして林檎栽培を始め、林檎の國內需要には限度があり、將來は輸出を豫想して増産して行く考であるが、見通しは如何。昨年は產地渡し一貫一〇圓で若干の輸出向を横濱に送つた。

⑤ 私がフィリッピンに行つた時の経験によると、林檎には南方産の果實では得られない獨特の味があり、南方人は林檎に對して特別なあこがれを持つてゐる。輸送の技術的な困難を克服出来れば相當の將來性があるものと思われる。

村里の聲を聞く

なお林檎の產地價格と消費地價格との間には相當の開きがあり利益の多くが中間商人に吸収されているように思われるが、組合等の組織によつて消費地と直接に結びつくことは考えていないか。

D 中間搾取の排除は考えてはいるがまだ具體化していない。

B 組合組織によつて輸出途も經營することとなれば輸送の問題が重要となるが、その見通しは如何。

⑥ 國內輸送はつまるところ石炭問題だが、これは追々よくなることと思う。輸出の場合は外國船の艀船が許されるようになる。輸出品に對する艀船その他具體的業務は貿易公團が一手に引受けることになつてゐるので、組合としてそこまで心配することは不要である。

養蠶は駄目だと一般にいわれているが、本當に駄目なものであろうか。お聞きしたい。

⑦ 生絲の賣行の香しくないことは否定出来ない。然し世間には事實以上に誇張されて傳つてゐる。今日でもイタリアの生絲はアメリカで相當の賣行を示している。爲替レートが定まり、また賣價をイタリアに負けない程度に安くすることが出来れば生絲の將來は決して見捨てたものではない。また戰前に生絲がよく賣れたといつても、これは日本側が買入、加工、輸送、現地での賣込等について當時の日本としては最高級の組織力を發揮した結果でもある。戰後は條件も變つて戰前の様な組織網は出来なくとも戰後の諸條件に即應した合理的な組織をつくり出

するために最善の努力をつくすべきである。また太平洋戦争を契機として生絲の買行が不振になつたに反して、絹織物或いは人絹との交織物の輸出は増している。今後は生絲のままアメリカに出すだけではなく、織物化して南方等へもどし／＼出すことを考えていただきたい。

D 私も生絲輸出は絹織物に轉換することによつて伸び得ると思う。岡谷のある工場では繭から直接に織物を生産しているというのを聞いている。

それからアンゴラ兎の見返はどうか。

③ 有望かと想う。

J 先月富山の農事試験場から技師が二名富村に視察に來られた。その時の話によると、農業の將來は米麥中心では維持出來ない。より高い價值を生む果樹その他の高級特殊作物に轉換しなければならぬ。その理由から富村の林檎栽培状況を見に來られたとのことであつた。農業の將來はどのように考えて差支えないものであらうか。

② なか／＼困難な問題である。一般的にいって比較的價値の低い米麥等の食糧中心一本槍から適地特殊作物の多角經營に轉換し、價値の高いものを集約的に生産した上外國の安い食糧と交換するという方式を確立することは、我が國の如く耕地の狹隘な國に必要である。しかしそのためには農業生産技術を高度化することが先決問題となる。現在の農業を如何にしてこのような新しい高度化された農業に持つて行くかということに、我々

の問題があり苦しみもある譯である。日本の農業は規模が小さく劣弱であるといわれるが、より多くの資本と技術とを投入することによつてまだ／＼發展し得る餘地はあると思う。

J 若しそういう風に考えられるとすると、一方特殊作物への轉換の必要性を認めながら他方作付統制を行つて米麥作を強制しているのは矛盾ではないか。作付統制令は一應法的には撤廢されているが、事實上轉換は不可能である。また近く議會に提出されるという農業調整法も實質は作付統制法ではないか。

④ お説のような點は過渡期の機みとして避け難い。目標としては統制をはずしても安定した經濟が営まれるようにすることにある。そこへ持つて行くまでにはいろいろの困難もある。

K 農業保險法は任意加入に改めてもらいたい。強制加入では富村などは損ばかりすることになる。東北にしてやられたという感じが強い。

⑤ 國民經濟全體の問題として、地域差に囚われず考えてほしい。

L 農林省では農産物の價格と配給物資の價格とがつり合つていると考えて居られるか。⑤で農産物を供出すれば配給品を買うだけでも赤字を出す。

⑥ 必ずしもそうは思わない。しかし不安定な經濟的條件のもとでは均衡のとれた價格體系をつくり出し、これを維持して行くことはなか／＼困難である。明かに不均衡な點については具體的な計數を知らせて欲しい。

L 報奨物資も考えてもらいたい。値段が安い質も甚だ粗悪だ。同じ切符で良い品を買おうと思えば更に多額の金を支拂わなければならず、闇で買うと同じ結果になる。また報奨物資は日用品をやめて生産資材を多くするように考えて欲しい。

M 供出報奨制度はむしろ撤廃した方がよくはないか。肥料の場合などを考えるとその不公平が明瞭だ。多く供出の出来る農家は地方が優秀だからで、それにまた肥料をつぎ込めば次もまたよく出来る。他方供出成績の悪いものは地方が弱っている。それを回復する機会が興えられないから成績は益々悪くなる一方だ。肥料が本當に必要なのは供出成績の悪い者であつて、良い者ではない。

② 報奨制度についてはいろいろと改善すべき點もあるが、この制度は全體としてはプラスになる面が多いと思う。早急に撤廃することは望ましくない。

D 何時の時代でもそうだが政府の政策は一般に百姓いぢめである。早い話が石炭と食糧とはどちらが重要であらうか。石炭も大事だろうが、食糧なしでは一日も暮せない。それにも拘らず石炭という資材、資金、補助金をと／＼出して居りながら農業の方は一向省みない。百姓は黙々と働いて居るが苦しみ耐えるにも限度があるのではないかと恐れる。

③ 特に農業を輕視していることはない。困難な事情のもとで政府は出来るだけのことをして農業を伸すために努力している點を忘れてもらいたくない。

村里の聲を聞く

A 所謂農村工業についても我々は眞剣に考えているが、一番心配なことは一生懸命にこれを育成しても、將來大資本の進出に壓迫されて存立か不可能になるのではないかとということだが、この點如何。

③ 普通農村工業といわれているものに二つの形態がある。第一は時計工業のように農業と直接の關係はないが、農村の餘剩勞働力を利用するために農村に立地するものである。この種の農村工業に關する限り只今いわれたような懸念は否定出来ない。しかし我々の考えている農村工業は第二のもの、即ち生鮮食料品その他の農産物に加工を施してその保存性を増し、農産物價格決定上の不利な條件を除去しようとするものである。即ち農産物の價格維持が主眼であつて工業からの所得は第二義となる。このような農産加工工業に關しては大資本との競争は左程恐るべきものではなく、それ自體として生きる道が開けるものと思ふ。

A 當村は養蠶業の盛んな時分に戸數を増し一戸當り耕地面積は四段歩ばかりの狭さである。その上疎開引揚等の人口も相當收斂しなければならぬ。耕地面積の不足は一部は開墾によつて緩和する計畫を立てているがこれには限度がある。今までのところは養蠶に代るに果樹を以つて幸にも切り抜けて來たのであるが、全體として當村の將來について如何なる見通しがあるであろうか。御意見を承りたい。

(以下二三頁へ)

大再生産が可能となる。

第三は農業労働分配の問題である。養蚕労働は農業労働分配の谷を浅くするが山をも高くする。小来川村で乾草を調製し得ない一大原因となつてゐる。夏季は労働分配の山であり、此の時期に野草も豊富であるが、冬期のために貯蔵する労力の餘裕がない。粗飼料として年間所要の乾草を調製貯蔵して置くことは何人とも望んでゐるが、その資源に恵れていても現實には仲々實行されていない。小来川村の場合であると、努力を厭嫌するか、枯草を刈るという事になつてしまふらしい。粗飼料がその優秀性のためにではなしに、日本に於ける主要な粗飼料となつてゐることも此等に原因するものがあると思われる。

(二三・四・三四) (研究員)

(附記) 小来川村の調査に當つて積極的に調査製作成に御助力下さつた本所駐在研究員福田孫光氏に厚く感謝すると共に、今後共御協力をお願い致し度いと思つてゐる。

(二四三頁より續く)

④ 卒直にいつて印象は暗いといわなければならない。これは當村のみならず日本農業全體に共通の問題である。しかし我々は努力すれば必ず活路があるということを確信する。

私は曾てヨーロッパを旅行し、アルプスの山村をたずねた経験がある。自然條件はこの村などよりはもつと／＼悪かつた。しかしその住民が素朴な生活ながらも、文化の程度も高く、明るく、心豊かに暮らしてゐるのを見て打たるものがあつた。以つて他山の石とすべきではなからうか。

A いろ／＼話は盡きないことと思うが時間も経つたのでこの邊で閉會にしたい。

(斎藤一夫記)